

第5回 ICT を活用した新道路交通調査体系検討会 議事概要

1. 日時

令和3年9月7日（火）10:00～12:00

2. 出席者

<委員長> 羽藤英二

<委員> 井料隆雅、大口敬、小嶋文、塩見康博、兵藤哲朗、福田大輔、
布施孝志、柳沼秀樹

(50音順、敬称略)

3. 議題

- (1) 全国道路・街路交通情勢調査について
- (2) 新たな道路交通調査体系における常時観測データの活用に向けて
- (3) その他

4. 議事概要

(1) 全国道路・街路交通情勢調査について

○事務局より令和3年度全国道路・街路交通情勢調査の実施について説明後、委員より、新型コロナウイルスの影響を分析できるよう本調査期間前後の交通状況も把握すべき等のご意見をいただいた。

(2) 新たな道路交通調査体系における常時観測データの活用に向けて

○事務局より CCTV カメラ画像の AI 解析による交通量観測の精度検証等について説明後、委員より、精度向上のため機器配置や画角に留意すべき、カメラより取得される交通量データを補正した場合の取扱に留意すべき等のご意見をいただいた。

○事務局より ETC2.0 プローブデータ等を活用した OD 表構築に向けた検討及び OD 交通量逆推定手法の検討について説明後、委員より、精度検証にあたり、民間プローブデータも比較対象として活用することや、将来的には政策スケールに応じたゾーン区分及び時間区分等の細かな設定が可能となる OD 表構築を目指すべき等のご意見をいただいた。

3) その他

○事務局よりビッグデータを活用した渋滞予測について説明後、委員より、道路管理者としてユースケースを明確化した上で、それに必要な精度向上に向けて開発を進めるべき等のご意見をいただいた。

○事務局より xROAD 構築を踏まえた今後の新たな道路交通調査体系の取組の案について説明後、委員より、調査データの「取得」「蓄積」「利活用」の各技術の開発については、相互に連携して進める必要があること、データのオープン化が特に重要であること、ユースケースの事例を学識者と連携して増やしていくべき等のご意見をいただいた。